

みんなの広場

『人権の花』運動

思いやりと幸せの輪を広げよう

南波多郷学館で『人権の花』贈呈式がありました。これは、唐津・伊万里人権啓発活動地域ネットワーク協議会が、花の植栽や管理を通して、思いやりの心を育ててもらおうと小学生を対象に毎年行っている運動です。式には4年生12人が参加し、受け取った苗をプランターへ移植しました。秋には成果や気付きを発表する観賞会を行います。



↑ 4年生が協力し合ってサルビアを植栽

もり 森林の仕事体験研修会

森林の恵みを絶やさなために

公益財団法人佐賀県森林整備担い手育成基金が、林業に興味がある人や就職を希望する人を対象に、体験研修会を開催しました。実際に林業の仕事を体験することで、林業への理解を深め、林業の担い手をつくることを目的としたもので、参加者は「想像よりも高性能林業機械などの導入が進んでいる」と働きやすそうな環境に魅力を感じていました。



↑ 実際に、森林で林業の仕事の大事さを学ぶ参加者

『村岡一の世界』

伊万里愛にあふれています

元教育委員長で美術の教員だった村岡一^{はしめ}さんが、市のキャッチコピー『いまりで、決まり!』を題材にした絵はがきを描いて、市に提供しました。村岡さんの絵は、成人式パンフレットの表紙になったり、伊万里川周辺の風景であったりと、市民に親しみがあることから、今回の絵をたくさんの人に見てもらおうと市民図書館で展示しています。



↑ 市民図書館での展示の様子

災害対応等説明会

市民の安全確保に努めるため

災害はいつ起こるかかわからないので、日頃からの備えが必要です。このため、市では避難所運営に当たるコミュニティセンターなどの市職員に、災害時の対応などについて説明しました。国の新型コロナウイルス感染症対策の交付金を使って、各コミュニティセンターに配備した簡易テントなどを設置し、実際の運営手順を確認しました。

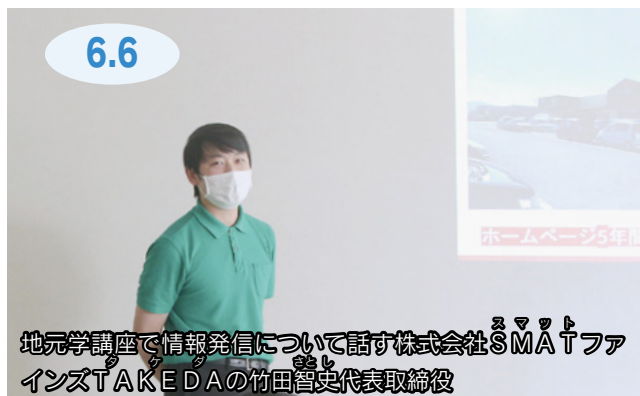


↑ 大川コミュニティセンターで、感染症対策などにも配慮したパーティションや簡易ベットの組み立てを確認

株式会社佐賀新聞社の『さが未来発見塾』

高校生が伊万里の『未来計画』を考える

伊万里商工会館で『さが未来発見塾』があり、伊万里高校#キセキ部の4人と伊万里実業高校フードプロジェクト部の5人が参加しました。この日は、情報発信や地域の現状について講師から話を聞いたあと、伊万里の魅力や課題を話し合いました。今後、取材や話し合いを重ねて、高校生が考える未来計画を作成し、市長に提案する予定です。



6.6

地元学講座で情報発信について話す株式会社SMARTファインズTAKEDAの竹田智史代表取締役



↑伊万里の魅力や課題を考えて、発表しあう高校生たち

6月1日～7日は住宅用火災警報器普及啓発キャンペーン 設置後、点検していますか

住宅用火災警報器の普及啓発活動がマックスバリュ伊万里駅前店でありました。警報器の設置がすべての住宅に義務付けられて10年を迎えることから、伊万里消防署と市女性防火クラブの皆さんがチラシを配布しながら、実物の警報器を使って点検方法を説明したり、設置の徹底と適切な維持管理を呼びかけたりしました。



↑使い捨てマスクとチラシを配布して呼びかけました

伊万里実業高校フードプロジェクト部のフードドライブ それぞれの思いをつなげて地域に貢献

伊万里実業高校フードプロジェクト部が、伊万里駅前公園でフードドライブを実施しました。家庭などで余っている食品を集めて、地域の福祉団体などに寄付する食品ロス解決に向けた取り組みで、集まった食品は約110品。一部は菓子に加工して、食品とともにNPO法人こすもす村(脇田町)を通して、一人親世帯などに提供されます。



家庭で眠る食品を受け取る伊万里実業高校松尾瑠奈生徒会長(左から2人目)



↑フードドライブで集まった食品や加工した菓子を受け取るNPOの牧瀬紀子代表(左から3人目)

地域資源の発掘・再発見の出前講座

伊万里を知って、伊万里を好きになろう

山代東小学校で、地域資源の発掘・再発見のための出前講座を行いました。子どもたちに伊万里のことを知り、伊万里を紹介できるように育ててもらいたいと今年度から実施。講師のNPO法人まちづくり伊万里の早田文昭理事長は、「伊万里にはいいところがたくさんあるので、もっと伊万里のことを自慢してください」と伝えました。



↑伊万里のことをクイズを交えながら紹介する早田理事長